

累計2,000件以上の作品応募
「生まれ変わる」をテーマとした短編文学賞
「ひなた短編文学賞 受賞作品展」
2026年1月19日（月）より双葉町にて開催

フレックスジャパン株式会社（本社：長野県千曲市、代表取締役社長：矢島隆生）は、2026年1月19日（月）より、福島県双葉町の双葉町産業交流センター（通称：F-BICC）にて「ひなた短編文学賞受賞作品展」を開催いたします。会期は2026年3月末までを予定しています。

「ひなた短編文学賞」は、2023年7月に双葉町で開業した衣料品リメイクのアトリエ「ひなた工房 福島双葉」の開業記念企画として誕生しました。東日本大震災および原発事故を経て、2022年8月に一部避難指示が解除され、“新しい町づくり”が進む双葉町と、思い出の詰まった衣服を新たな形へ生まれ変わらせる「ひなた工房」。両者に通底する「生まれ変わる」という想いを重ね合わせ、作品を募集してきました。

第三回は、全国から800作品を超える応募が寄せられ、「生まれ変わる」というテーマに加えて「あらたな一歩」を掲げ、過去最多となる24篇の受賞作品が選出されました。本展では、全三回の受賞作品のうち大賞・双葉町長賞を中心に展示し、すべての受賞作品は会場で閲覧できる冊子としてご用意します。ひなた短編文学賞のこれまでの軌跡や、本文学賞を通じて生まれた様々な取り組みなど、作品と共にご覧いただける展示です。

■ 開催概要

- 展覧会名：ひなた短編文学賞受賞作品展
- 会期：2026年1月19日（月）～2026年3月末（予定）
- 会場：双葉町産業交流センター（F-BICC） 1F エントランス
- 住所：〒979-1401 福島県双葉郡双葉町大字中野字高田1番地1
- 開館時間：9:00～18:00
- 入場：無料
- 主催：フレックスジャパン株式会社

■ ひなた短編文学賞について

ひなた短編文学賞は、双葉町の歩みと「ひなた工房」のものづくりへの想いを重ね、全国から短編作品を募る文学賞です。思い出の衣服がバッグや小物へと“生まれ変わる”ように、言葉もまた、読む人の中で新たな意味や希望として立ち上がっていく——そんな願いを込めて開催しています。

■ お問い合わせ

フレックスジャパン(株) 担当者名:コミュニケーションデザイン部 小林
TEL: 026-261-3000 MAIL: seiyak@flexjapan.co.jp



会場では過去三回分の全作品が閲覧可



受賞作品の作中に登場する、ワイシャツをリメイクしたウェディングドレスも展示